

全溶連のすべて



一般社団法人 全国高圧ガス溶材組合連合会
(略 称 ・ 全 溶 連)

目 次

(1)全溶連の目的と会員、並びに事業	2-3
(2)全溶連とは	4
(3)団体の規模及び事業概要	5
(4)組織図	6
(5)全溶連推薦者の(個人)国家表彰	7
(6)歴代会長	8
(7)会員名簿(正会員)	9
(7)会員名簿(特別会員・賛助会員)	10
(8)全溶連大会(総会)の歴史	11-12

(1) 全溶連の目的と会員並びに事業

1. 全溶連の目的

全溶連は、「会員相互の連携のもとに自主保安の徹底を期し、もって保安行政の円滑な執行に寄与し、併せて高圧ガス販売業界の健全な進歩発展に貢献する」ことを目的とする、一般高圧ガス販売業界における唯一の全国団体で、経済産業省のご指導のもとに活動しております。

2. 全溶連の会員

全溶連は「全国各地の高圧ガス並びに溶接関連機器材料販売業者が結成する」各地区組合の連合体です。従って、会員は各地区組合（単位組合といいます）であって、それぞれの会社ではありません。2023年4月現在の全溶連会員は31組合・1,339社ですが、その意味は、全溶連を構成する単位組合の数が31で、それぞれの単位組合に所属する組合員（会社）を合計した総数が1,339社ということです。

3. 加入の手続き

それぞれの会社が全溶連に加入される場合は、各地区組合（単位組合）に加入して頂くことになります。単位組合に加入されますと、ご加入をお受けした単位組合から所属組合員として全溶連に報告される時点で自動的に全溶連加入会社となります。全溶連の手続きは特段ございません。単位組合の加入手続に従ってください。

4. 会費の払込み

組合員各社が、全溶連に直接払い込むことはありません。単位組合が、組合員から頂戴した会費の中から、全溶連会費として所属組合員の数によって、全溶連に支払います。現行の単位組合の負担額は、所属組合員1社につき年額12,000円です。

5. 加入後のご活動

ご加入の単位組合の規約や指示、指導に従って活動してください。全溶連が皆さんに直接ご指示することは先ずありません。単位組合を通じて行なうのが殆どです。皆様への直接のご連絡は、お手元にお届けする広報紙「全溶連」とか「全溶連大会のご案内」等の送達が主なものです。この他には、特に重要な法規則とか急を要する情報等の伝達があります。

6. 全溶連のサービス

（全溶連「保安文書」の頒布、及び KHK（高圧ガス保安協会）、メーカー等の図書・機器等の斡旋サービス）

全溶連で製作している保安関係文書等（下記）をご利用になれます。全国共通で大量に作成しますのでコストは安くお得です。大いに活用されるようお勧めします。

- ①周知文書～法により販売業者は、災害防止に必要な事項を、年1回、消費事業所へ周知させる義務を負っています。このため全溶連では、毎年周知文書を作成して皆さんに提供しています。
- ②保安台帳～法により販売業者は、高圧ガス引渡先の保安状況を掌握し記録しなければなりません。必要な事項を記入するための台帳用紙を作成しています。
- ③消費先点検表～高圧ガスの危害防止と自主保安の確保をはかるため、消費事業所を年に1回以上巡回・点検・指導しなければなりません。その点検記録用の様式です。
- ④イエローカード～高圧ガスの移動時に、ガス別の注意事項を記した書面を運転手に必ず携行させています。9種類の可燃、支燃、不活性ガスについてファイルされています。
- ⑤保安テキスト～各地の消費者講習会や、消費者及び販売業者、さらにはメーカーの社内教育用にもテキストとしてご利用頂いています。経済産業省の監修を頂いて全溶連で制作したもので、幸い好評で各方面で広く使用されています。

これらの全溶連で作成している保安関係文書の外に、KHKで発行する図書類や、メーカー或いはその団体が発行する図書類や器具等々を、ご要望によって斡旋しています。原則として単位組合を経

由にて承っていますが、直接のお申出でもお受けしています。

7.全溶連「福祉共済」制度等をご利用できます

全溶連では、独自の共済制度を整備して会員の相互扶助に役立てています。

① 団体生命保険

昭和59年に発足させて、2023年現在では3,300名ほどの加人者数で、会員の統廃合等で減少傾向にあります。

② 医療補償

平成9年1月、団体生命保険を補完するため「入院保障」を目的として始めました。これら①及び②は、何れも全溶連という大きな受皿を用意することでスケールメリットを生み出します。

「安い保険料で高い保障」というばかりではありません。毎年相当額の社員配当還付金が見込まれます。また、これらの制度に係る事務代行料として、ご加人者の所属組合に対して毎年相当額をお渡ししており、当該組合の貴重な運営財源となっています。

③ 傷害補償

平成17年1月、団体生命保険のオプションとして「業務上のあらゆるケガ」を補償することを目的として始めました。

④ 第三者賠償損害保険

平成9年7月から、全溶連契約に一本化するとともに、制度の適用を全国すべての地域に拡大しました。この制度の原型は、一部の地区で地区組合を契約母体とする方式で実施されてきましたが、平成9年7月から、未実施の地区を含め全国すべての地区で全溶連直轄の契約に組み替え、「有利で破格な保険料」が適用されるようになりました。同時に、これまで一般高圧ガス販売に限定されていたのを、溶接関連機器及び材料の販売、さらには工業用に限ってLPGの販売をも含めた「広い範囲の保障」が可能となりました。

⑤ 高圧ガス溶材企業年金基金制度へご加人になれます

この年金基金は、全国高圧ガス溶材卸厚生年金金から後継制度である確定給付企業年金に移行した制度です。全溶連が母体となって平成29年7月に発足しました。令和5年3月末の加入会社は356社、加人者9,664名、年金受給者1,678名、年金資産は108億円の規模となっています。若い優良な大型基金のご評価を頂いております。この基金は特別法人であり、全溶連と別に独立した事務局がございますので、基金事務局へご相談ください。

(2)全 溶 連 と は

1.一般高圧ガス販売業界唯一の全国団体として認知されています

- ①全溶連の保安活動に対する官民の評価は高く、特に監督官庁の経済産業省から大きな期待を寄せられています。一つの証として、先の「阪神・淡路大震災」における全溶連の防災及び復旧活動は高く評価され、総理大臣及び通産大臣から団体表彰の栄誉を頂戴しました。
 - 平成7年9月、総理大臣表彰(放置・焼失容器の緊急回収活動)
 - 平成7年9月、通産大臣感謝状(地域復旧活動)
- ②国家表彰(叙勲・褒章)の候補者推薦団体として昭和 56 年以来推薦を認められ、今日まで多数の全溶連関係者が受章されています。(別欄で受章者の名簿を収録しています)

2.全溶連の生い立ち

昭和 7 年7月 15 日設立「全国溶材商連合会」

昭和 52 年5月 19 日 現団体名に改称「全国高圧ガス溶材組合連合会」

平成 22 年 6 月 4 日 一般社団法人「全国高圧ガス溶材組合連合会」へ移行

- ①高圧ガスの歴史は遠く明治の中頃といわれます。カーバイドは、明治 34 年(1901 年)に初めてアセチレンランプとともに輸入され翌年には国産化されました。電気溶接は、明治 37 年(1904 年)三菱長崎におけるカーボンアークの技術導入が始まりとされ、ガス溶接は、明治 41 年(1908 年)フランスから技術輸入され、翌年にはガス溶接機器が導入されています。酸素の国産化は、明治 42 年に大阪、そして明治 44 年には東京で始まりました。この間、明治 37～38 年の日露戦争、大正3～7年の第一次世界大戦と軍需の増大で高圧ガスの分野は飛躍的に伸びました。当初は、輸入業者や製造者自らが、需要先へ技術や用法等を指導しながら直接売込むのが殆どで、販売専門者の介入の余地は無いに等しい状況でした。
- ②販売業者の出現、業界の形成
そうした状況の中で、需要家の依頼や製造者の製造・運搬等を通してガス及び器材の取次ぎ販売が始まってまいり、次第にガス販売の専門業者が出現し業界が形成されてまいりました。

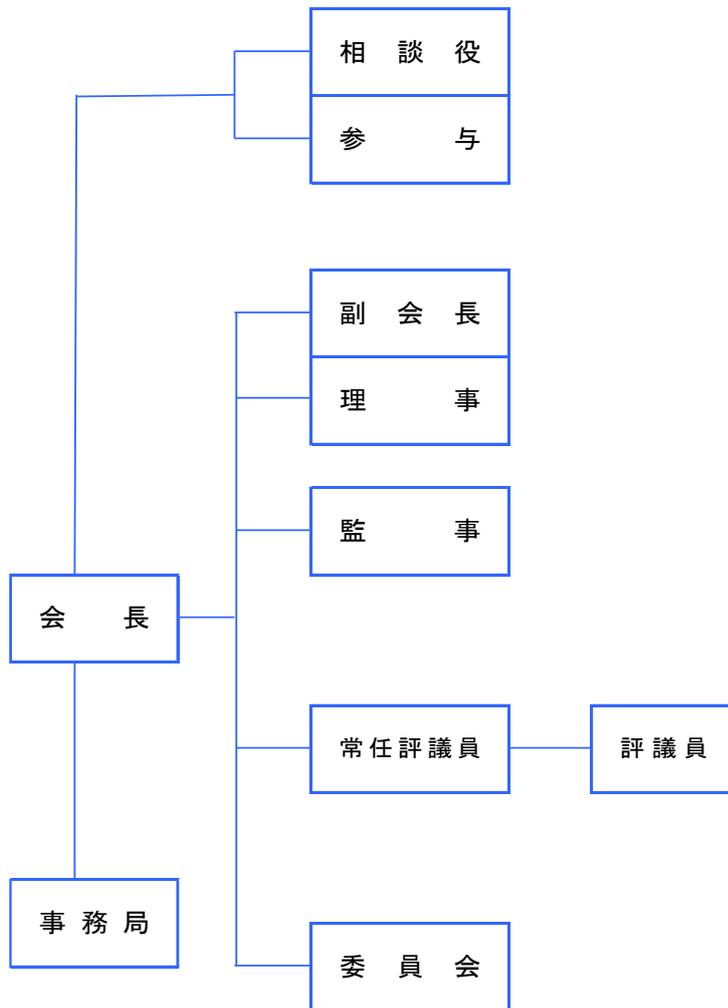
3.発展の足取り

- ①昭和初頭、第一次世界大戦の反動による世界的な大恐慌に襲われ、われわれ高圧ガス器材販売の業界もご多分に漏れず未曾有の不況に見舞われました。この苦境を克服せんがため、各地で協業化、組合結成の気運が高まりました。昭和4年「大日本酸素カーバイド溶接器具材料商組合」(東京)が結成され、翌5年には「大阪溶接器具材料商組合」(大阪)が誕生しております。各地で多くの組合が結成され全国規模の組合連合組織の出現が望まれる中で、昭和7年7月 15 日、故・沢田白嶺氏の肝煎りで、「東西溶材業者交歓会」が初めて開催されるに至りました。この日を以て全溶連の設立(日)としています。
- ②日中戦争から第二次世界大戦と、政争の激化とそれに伴う統制経済への移行により、昭和 13 年から昭和 25 年の復活第1回(通算第7回)大会まで、止む無く活動中止に追い込まれる状況に立ち至りました。やがて昭和 26 年の高圧ガス取締法公布を境に、もともと参加者の経営の向上と業界の共存共栄を目指した組合の活動でしたが、次第に保安活動のウエイトが高まるにつれて、団体の性格も「経済団体」から「保安団体」へ、時代の要請に従い徐々に変化してまいりました。この間、各地組合の加入相次ぎ、昭和 50 年代には、ほぼ、今の会員組織が確立しました。

(3) 団体の規模及び事業概要

1. 法的根拠 一般社団法人
2. 会員数 31組合(1, 339社) 2023年4月1日現在
3. 活動範囲 全国 47 都道府県(北海道から沖縄まで)
4. 役員構成 会長1、副会長5、理事1、監事2、常任評議員17、評議員31、(計57名)
事務局長1、職員2 (事務局 3名)
5. 年予算額 5, 878万円(2023年度)
6. 事業内容 ①高圧ガス及び関連機器の保安教育又は品質の改善、向上並びに利用、普及
②講習会、展示会、見学会等の開催並びにその後援
③関係諸官庁、団体、公共機関との連携、報告又は諮問に対する答申並びに請願もしくは建議
④会報の発行並びに各種資料の刊行配布
⑤本会の大会の開催
⑥業界関係功労者の表彰並びに推薦
⑦福祉厚生に関する事業
⑧その他本会の目的を達成するために必要な事業
7. 設立年月日 昭和7年7月 15日 全国溶材商連合会
昭和 52 年5月 19日 全国高圧ガス溶材組合連合会と改称
平成 22 年 6 月 4 日 一般社団法人全国高圧ガス溶材組合連合会へ移行
8. 常置委員会 常置委員会 現在、7委員会を設けてその活動内容。
1. 総務委員会(委員長以下14名)
 - ・本会の運営、並びに事業の企画、調整等に関する事項
 - ・理事会、総会、全溶連大会、その他諸会議に関する事項
 - ・関係官庁及び関係諸団体等との渉外、並びに国家表彰、各種表彰に関する事項
 2. 組織委員会(委員長以下11名)
 - ・会員増強に関する事項
 - ・口組織強化に関する事項
 3. 財務委員会(委員長以下9名)
 - ・本会の資産、及び金銭・物品の出納に関する事項
 - ・予算、及び決算、監査に関する事項
 4. 経済委員会(委員長以下16名)
 - ・経済の動向及び市況調査に関する事項
 - ・商慣行改善等、経営環境の調査に関する事項
 - ・賠償責任保険制度の普及に関する事項
 5. 保安委員会(委員長以下21名)
 - ・保安技術問題並びに消費者保安啓発に関する事項
 - ・高圧ガス及び関連機器による災害防止対策に関する事項
 - ・保安文書の制定、発行に関する事項
 6. 厚生委員会(委員長以下10名)
 - ・年金基金の充実・強化並びに保険及び共済事業に関する事項
 - ・会員の福祉厚生に関する事項
 7. 広報委員会(委員長以下8名)
 - ・会報の発行及び会員名簿の更新に関する事項
 - ・全溶連 HP に関する事項

(4) 組織図



単位組合

- | | | |
|----|-----|------------|
| 1 | 北海道 | |
| 2 | 青森 | |
| 3 | 秋田 | |
| 4 | 岩手 | |
| 5 | 山形 | |
| 6 | 宮城 | |
| 7 | 福島 | |
| 8 | 茨城 | |
| 9 | 栃木 | |
| 10 | 群馬 | |
| 11 | 埼玉 | |
| 12 | 千葉 | |
| 13 | 東京 | |
| 14 | 神奈川 | |
| 15 | 長野 | |
| 16 | 新潟 | |
| 17 | 山梨 | |
| 18 | 静岡 | |
| 19 | 東海 | (愛知、三重、岐阜) |
| 20 | 北陸 | (福井、石川、富山) |
| 21 | 滋賀 | |
| 22 | 京都 | |
| 23 | 大阪 | |
| 24 | 奈良 | |
| 25 | 和歌山 | |
| 26 | 兵庫 | |
| 27 | 岡山 | |
| 28 | 広島 | (広島、鳥取、島根) |
| 29 | 山口 | |
| 30 | 四国 | (4県) |
| 31 | 九州 | (7県、沖縄) |

(常置)

1. 総務委員会
2. 組織委員会
3. 財務委員会
4. 経済委員会
5. 保安委員会
6. 厚生委員会
7. 広報委員会

2023.4.1現在

組合数	31
会員数	1,339

(5) 全溶連推薦者の(個人)国家表彰

年次	氏名	所属組合	全溶連役職	叙勲	褒章
S56・春	岡本 茂雄	広島	副会長		藍綬褒章
S58・春	玉西 義郎	大阪	副会長		藍綬褒章
S59・春	斉藤 文一	東京	会長		藍綬褒章
S59・秋	杉谷陸太郎	九州	副会長	勲5等旭日章	
S59・秋	茂木 三郎	群馬	副会長		藍綬褒章
S60・秋	棚橋 源一	東海	副会長	勲5等旭日章	
S60・秋	山下 英正	兵庫	副会長		藍綬褒章
S61・春	益子 五郎	神奈川	副会長		藍綬褒章
S61・秋	東 助成	東京	会長	勲5等旭日章	
S61・秋	辻 栄美夫	群馬	理事		藍綬褒章
S62・春	小林 幹夫	大阪	会長	勲5等旭日章	
S62・秋	榎原 静馬	広島	常任理事	勲5等旭日章	
S62・秋	野口 甫	長野	理事		藍綬褒章
S63・秋	宇野 熙	北陸	常任理事		藍綬褒章
H1・春	長澤 一	神奈川	常任理事	勲5等旭日章	
H1・秋	斉藤 文一	東京	会長	勲4等瑞宝章	
H3・秋	茂木 三郎	群馬	副会長	勲4等瑞宝章	
H4・春	松下栄一郎	静岡	常任理事		藍綬褒章
H4・秋	内田 利男	東海	副会長		藍綬褒章
H5・春	秋山 金吾	神奈川	副会長	勲5等旭日章	
H5・春	辰巳 幸一	兵庫	常任理事		藍綬褒章
H5・秋	中尾 利男	東京	副会長	勲5等旭日章	
H6・春	高橋昌三郎	滋賀	常任理事		藍綬褒章
H6・秋	玉西 義郎	大阪	副会長	勲5等旭日章	
H7・春	相沢 茂	千葉	常任理事	勲5等旭日章	
H8・春	市田 秀雄	東京	副会長		藍綬褒章
H9・春	松下栄一郎	静岡	常任理事	勲5等旭日章	
H9・秋	山川 昇	大阪	会長		藍綬褒章
H10・秋	鈴木 雅晴	東海	副会長	勲5等旭日章	
H11・秋	辰巳 幸一	兵庫	常任理事	勲5等瑞宝章	
H12・春	古谷 鐵夫	九州	常任理事	勲5等瑞宝章	
H12・秋	田沼 亮	宮城	常任理事	勲5等瑞宝章	
H13・秋	宮川 泰濟	大阪	副会長		藍綬褒章
H14・春	高橋昌三郎	滋賀	常任理事	勲5等瑞宝章	
H15・秋	石川 利孝	東海	副会長	旭日小授章	
H16・秋	澤田 節雄	大阪	常任理事	旭日双光章	
H17・秋	立花 政次	四国	常任理事	旭日双光章	
H18・秋	松尾 光敏	九州	副会長	旭日双光章	
H19・春	藤井 基博	広島	副会長		藍綬褒章
H19・秋	澤田勇治郎	東京	会長		藍綬褒章
H24・春	深尾 定男	東京	会長		藍綬褒章
H30・秋	山内 二郎	東海	副会長		藍綬褒章

(6) 歴代会長

代	氏名	出身組合	在任期間
初代	吉田 藤作	東京	昭和 27 年 5 月～昭和 35 年 4 月
2 代	岩谷 直治	大阪	昭和 35 年 4 月～昭和 37 年 5 月
3 代	千田 勝彦	東京	昭和 37 年 5 月～昭和 40 年 5 月
4 代	嵯峨根岩男	大阪	昭和 40 年 5 月～昭和 42 年 5 月
5 代	千田 勝彦	東京	昭和 42 年 5 月～昭和 44 年 6 月
6 代	東 助成	東京	昭和 44 年 6 月～昭和 48 年 5 月
7 代	小林 幹夫	大阪	昭和 48 年 5 月～昭和 50 年 5 月
8 代	坂上 英雄	大阪	昭和 50 年 5 月～昭和 52 年 5 月
9 代	川本 二郎	埼玉	昭和 52 年 5 月～昭和 57 年 5 月
10代	齊藤 文一	東京	昭和 57 年 5 月～平成 5 年 5 月
11代	山川 昇	大阪	平成 5 年 5 月～平成 14 年 9 月
12代	澤田勇治郎	東京	平成 14 年 9 月～平成 21 年 6 月
13代	深尾 定男	東京	平成 21 年 6 月～現在

(7) 会 員 名 簿

1. 正会員 ～31組合

(資格)全国各地の高圧ガス並びに溶接関連機器材料販売業者で結成する組合

- 1)北海道溶材商業会
- 2)青森県高圧ガス溶材商業会
- 3)(一社)岩手県高圧ガス保安協会・一般高圧ガス協議会
- 4)秋田県高圧ガス協会
- 5)山形県高圧ガス協議会
- 6)宮城県高圧ガス保安協会
- 7)福島県一般高圧ガス協会
- 8)(一社)茨城県高圧ガス保安協会・一般ガス部会
- 9)(一社)栃木県一般高圧ガス安全協会
- 10)群馬県高圧ガス溶材協会
- 11)埼玉県高圧ガス溶材協会
- 12)千葉県高圧ガス流通保安協会
- 13)東京都高圧ガス溶材協同組合
- 14)(一社)神奈川県高圧ガス流通保安協会
- 15)静岡県高圧ガス溶材組合
- 16)山梨県高圧ガス溶材組合
- 17)長野県高圧ガス協会
- 18)新潟県高圧ガス溶材商業会
- 19)東海高圧ガス溶材組合連合会(愛知、岐阜、三重)
- 20)北陸高圧ガス溶材組合(福井、石川、富山)
- 21)滋賀県高圧ガス溶材組合
- 22)京都府高圧ガス溶材組合
- 23)奈良県高圧ガス溶材商協会
- 24)大阪高圧ガス溶材協同組合
- 25)和歌山県高圧ガス協議会
- 26)兵庫県高圧ガス協同組合
- 27)岡山県高圧ガス協議会
- 28)広島県高圧ガス溶材協会(広島、鳥取、島根)
- 29)山口県高圧ガス保安協会・一般ガス部会
- 30)四国高圧ガス協議会(四国全県)
- 31)九州高圧ガス流通保安連合会(九州全県、沖縄)

2. 賛助会員～1団体、38社(業種順)

- 1)一般社団法人 日本産業・医療ガス協会
- 2)函館酸素(株)
- 3)日酸TANAKA(株)
- 4)(株)千代田精機
- 5)(株)ハンシン
- 6)ヤマト産業(株)
- 7)小池酸素工業(株)
- 8)三菱電機(株)
- 9)日東工器(株)
- 10)パナソニックコネクト(株)
- 11)(株)ダイヘン
- 12)デンヨー(株)
- 13)やまびこジャパン(株)
- 14)三立電器工業(株)
- 15)日鉄溶接工業(株)
- 16)(株)神戸製鋼所
- 17)神鋼商事(株)
- 18)ニッコー熔材工業(株)
- 19)(株)JKW
- 20)(株)旭製作所
- 21)高圧昭和ポンベ(株)
- 22)(株)ベンカン機工
- 23)(株)ハマイ
- 24)(株)ネリキ
- 25)新コスモス電機(株)
- 26)理研計器(株)
- 27)(株)レヂトン
- 28)ニューレジストン(株)
- 29)(株)山善
- 30)エスシーウェル(株)
- 31)三菱UFJ信託銀行(株)
- 32)日本生命保険相互会社
- 33)富国生命保険相互会社
- 34)三井住友海上火災保険(株)
- 35)あいおいニッセイ同和損害保険(株)
- 36)(株)星和ビジネスリンク
- 37)セーフティ・マネージメント・サービス(株)
- 38)株式会社アシスト・ワン

(8) 全溶連(総会)の歴史

回	開催日	担当組合	開催場所	参加 人員	備考
第1回	S7-7-15	東西溶材交歓会	犬山・不忘閣	17	
第2回	S8-4-15	同	箱根・環翠楼	45	
第3回	S9-3-20	同	宝塚・寿楼	70	
第4回	S10-4-15	全国溶材商連合	山中・よし乃や	51	
第5回	S11-3-27	同	熱海・玉久旅館	67	
第6回	S12-3-17	同	白浜・白浜館	34	
第7回	S25-4-28	同	宝塚・さくら亭	80	
第8回	S26-4-15	東京	熱海・大野屋	129	
第9回	S27-5-18	全国溶材商連合	下呂・湯之島館	127	
第10回	S28-3-22	九州	別府・清風荘	117	
第11回	S29-5-2	北陸	山中・河鹿荘	110	
第12回	S30-5-2	大阪	京都・鮎鶴	180	
第13回	S31-5-18	北関東／関東／神奈川	鬼怒川 H	169	
第14回	S32-4-28	東高連	三河三谷・富貴館	166	
第15回	S33-4-20	九州	久留米・文化会館	156	
第16回	S34-5-22	兵庫／大阪	淡路洲本・四州園	233	
第17回	S35-4-20	神奈川／静岡	熱海・富士屋 H	300	
第18回	S36-5-8	北陸	湯脇温泉・白雲楼	237	
第19回	S37-5-24	北関東	伊香保・小暮旅館	250	
第20回	S38-5-23	東京	Hニュージャパン	300	
第21回	S39-5-23	近畿3県連合	白浜・古賀之井 H	263	
第22回	S40-5-23	九州	嬉野・和多屋別館	200	
第23回	S41-5-24	神奈川／静岡	熱海・赤尾 H	364	
第24回	S42-5-19	北陸	片山津・古賀之井	335	
第25回	S43-5-17	中国	宮島・かめ福ほか	400	
第26回	S44-6-6	北海道	札幌・定山溪 H	416	
第27回	S45-6-20	兵庫	有馬・向陽閣	313	
第28回	S46-5-17	北関東	鬼怒川・あさや H	420	
第29回	S47-4-10	東高連	ナゴヤキャッスル H	350	
第30回	S48-4-2	東京	Hパシイック	458	
第31回	S49-5-21	近畿4県連合	京都／滋賀・H紅葉	424	
第32回	S50-5-21	九州	別府・杉乃井 H	362	
第33回	S51-5-22	神奈川	箱根・小涌園	466	
第34回	S52-5-19	北陸	片山津・北陸グランド H	374	
第35回	S53-5-18	中国	下関マリン H	352	
第36回	S54-6-22	北海道	札幌・定山溪 H	350	
第37回	S55-5-22	北関東	飯坂・H聚楽	370	
第38回	S56-5-22	兵庫	神戸ポートピア H	548	
第39回	S57-5-21	東高連	鳥羽ポートピア H	470	
第40回	S58-5-20	東京	東京・帝国 H	450	
第41回	S59-5-22	東北6県連合	秋田ビュー H	313	
第42回	S60-5-23	大阪	大阪ロイヤル H	433	

	開催日	担当組合	開催場所	参加 人員	備考
第43回	S61-5-22	九州	Hニューオオタニ博多	332	
第44回	S62-6-4	神奈川	ホリデーイン横浜	484	
第45回	S63-5-19	北陸	芦原・H美松	423	
第46回	H1-6-1	四国連合	徳島・阿波観光H	380	
第47回	H2-6-7	東高連	下呂・H水明館	503	
第48回	H3-5-23	兵庫	新神戸オリエンタルH	400	
第49回	H4-6-4	北海道	札幌・定山溪ビューH	377	
第50回	H5-5-20	東京	Hパンフィック東京	382	
第51回	H6-5-26	広島	リーガロイヤルH広島	296	
第52回	H7-5-25	宮城	秋保・旅館佐勘	268	
第53回	H8-5-23	九州	リーガロイヤルH小倉	361	
第54回	H9-6-5	新潟	オークラH新潟	310	
第55回	H10-6-4	大阪	Hニューオオタニ大阪	604	
第56回	H11-6-3	北陸	H日航金沢	316	
第57回	H12-6-8	東高連	名古屋マリオットアソシアH	557	
第58回	H13-6-14	東京	Hグランパシフィックメディアン	543	
第59回	H14-6-13	兵庫	新神戸オリエンタルホテル	435	
第60回	H15-6-5	神奈川	横浜ロイヤルパークH	472	
第61回	H16-6-4	東京(総会のみ)	品川プリンスH	147	
第62回	H17-6-9	広島	広島プリンスH	326	
第63回	H18-6-2	大阪(総会のみ)	メルパルク大阪	147	
第64回	H19-6-14	九州	リーガロイヤルH小倉	320	
第65回	H20-6-4	東京(総会のみ)	インターコンチネンタル東京ベイ	152	
第66回	H20-6-11	名古屋	名古屋東急ホテル	363	
第67回	H22-6-4	大阪(総会、社員総会)	メルパルク大阪	161	
第68回	H23-6-4	東京(社員総会)	メルパルク東京	66	
			大会中止により評議員 のみにて社員総会		
第69回	H24-6-8	大阪(総会のみ)	メルパルク大阪	132	
第70回	H25-6-6	東北6県	ホテルトリホリタン仙台	310	
第71回	H26-6-6	東京(総会のみ)	メルパルク東京	141	
第72回	H27-6-4	新潟・長野・山梨	ホテルオークラ新潟	280	
第73回	H28-6-3	大阪(総会のみ)	メルパルク大阪	135	
第74回	H29-6-8	兵庫	ホテル日航姫路	233	
第75回	H30-6-8	東京(総会のみ)	メルパルク東京	120	
第76回	R01-6-4	北陸	ホテル日航金沢	230	
第77回	R02-6-4	書面決議	コロナのため書面決議	149	
第78回	R03-6-4	書面決議	コロナのため書面決議	152	
第79回	R04-6-9	東京(総会のみ)	80回大会を記念大会と すべく総会のみに変更	71	賛助会員除く
第80回	R05-6-8	九州	ホテル日航福岡	203	